



FIELD HEATER

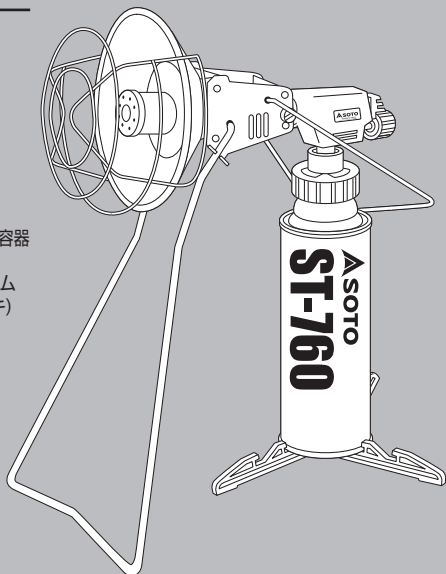
フィールドヒーターボンベセットST-801
PAT.P

取扱説明書

<生産物賠償責任保険付>

目次

特に注意していただきたいこと	1~2
各部の名称/使用方法	3
使用方法	4~6
故障・異常の見分け方と処置方法	7
アフターサービス	7
日常の点検・手入・保管	7



このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

仕様

外形寸法 / 幅170X奥行240X高さ320mm
(使用時、ST-760・ST-700装着時)
/ 幅170X奥行240X高さ240mm
(使用時、STG-70装着時)

重量 / 650g (本体のみ)
使用時間 / 約2時間 (STG-70 1本使用時)
約4時間 (ST-760 1本使用時)
約5時間 (ST-700 1本使用時)

※使用状況(天候、気温等)によって異なります。
使用容器 / SOTO製品専用容器、新富士バーナー製品専用容器
点火方式 / 圧電点火方式
材質 / リフレクター：アルミニウム、ガードフレーム
・スタンド・取手：スチール(クロームメッキ)
付属品 / G-FUEL STG-70 1本、スタビライザー
使用条件 / 気温20℃以下の屋外

屋外専用

◆ 特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⊘ マークは禁止を表わします。

警告 (取扱を誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

- 必ず屋外でご使用ください。屋内、テント内、車内では絶対に使用しないでください。屋内等換気の悪い所でのご使用は一酸化炭素中毒死や酸欠による窒息死のおそれがあります。
- 点火中に容器(ボンベ)を取り外したり、放り投げたりしないでください。火傷、火災の恐れがあります。
- 容器(ボンベ)は正しくセットしてください。セットが不十分だとガス漏れ事故の原因となります。
- 焼けた砂浜など直射日光によって容器(ボンベ)が過熱するような場所での使用や、放置はしないでください。
- 2台以上並べて使用したり他の熱源(ストーブ、ファンヒーター等)の付近では絶対に使用しないでください。お互いの熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発する危険があります。
- ご使用中およびご使用後は、本体が高温になっていますので、可燃物を近づけたり手を近づけたりしないでください。火傷、火災のおそれがあります。

■使用容器(ボンベ)の取扱上の注意

- 使用容器(ボンベ)はSOTO製品専用容器、新富士バーナー製品専用容器を必ずご使用ください。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

警告

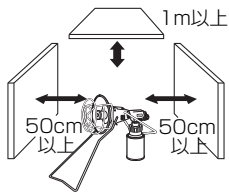
- 使用容器(ボンベ)は、火気や直射日光(室内や車内の窓際など)を避けてキャップをして風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- 使用容器(ボンベ)をファンヒーターの前など熱気のある場所に放置しないでください。熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発する危険があります。
- 使用済み容器(ボンベ)の処理に関する注意
- 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする場合にはまだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火の中に投入すると爆発する危険があります。
- 容器(ボンベ)は完全に使い終わってから他のゴミと区別して捨ててください。(各自治体の処理方法に従って捨ててください。)
- 使用容器(ボンベ)を火の中に投じないでください。爆発して危険です。
- 保管してある容器(ボンベ)は、時々点検してサビが発生している場合にはできるだけ早くご使用ください。
- 使用中は時々正常に燃焼していることを確認してください。

◆ 特に注意していただきたいこと

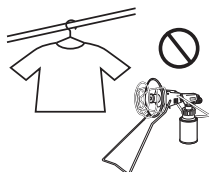
注意 (取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険、及び物的損害のみが想定されることを示します。)

■火災予防のために

- 燃えやすいものから周囲50cm以上、上部は1m以上離してご使用ください。



- テーブル上でのご使用の際は、テーブルクロス等燃えやすい物の上では使用しないでください。
- 火のついたまま持ち運んだり、衝撃を与えたりしないでください。火傷、火災の恐れがあります。
- ヒーターを衣類の乾燥など暖房以外の目的にご使用しないでください。



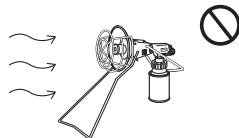
- ご使用時の点火、消火のほか使用中も時々正常に燃焼していることを確かめてください。

■換気について

- ご使用中は、換気に十分ご注意ください。
- 屋外でも換気の不十分な状態で使用しないでください。一酸化炭素中毒の危険があります。

■使用上の注意

- 向い風で使用すると、熱気が本体、容器(ボンベ)にかかり危険ですので追い風の状態でご使用ください。



- 強い風が吹くときは使用しないでください。風で炎が消される危険があります。
- 設置面が安定していて、平らで安全な場所に置いてご使用ください。器具が転倒し、異常燃焼し火傷、火災の危険があります。
- ご使用中は、器具から目を離さないでください。
- ご使用の際は、お子様に十分ご注意ください。

■異常時の処置

- 万一、異常燃焼を起こした場合や緊急の場合は、あわてずハンドルをOFF(右)の方向に止まるまで回して消火してください。それでも消えない場合は、消火器などで消火してください。消火を確認し、器具が冷めてから容器(ボンベ)を取り外してください。
- ハンドルをOFFにしても消火しない場合は、周囲に注意してガスがなくなるまで燃焼させたのち点検修理を依頼してください。

■補助具についての注意

補助具は、この器具用の付属品以外は使用しないでください。事故の原因になります。

◆ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象							処置方法
	火力が弱い	炎の色が赤い(ガスは出ている)	点火しない(ガスは出ている)	ガスが出ない	ガスの臭いがする	点火するが燃焼部に火移りしない	炎が不揃い	
ノズルのつまり	○	○		○		○		点検・修理を依頼する。
燃料が残り少ない	○					○		残りの燃料を使い切ってから、新しい容器(ボンベ)と交換する。
生ガス(霧状の白いガス)がでている		○						一度ハンドルを閉じ、ガスの噴出量を少なくして点火する。
ガス噴出量が多い			○					一度ハンドルを閉じ、ガスの噴出量を少なくして点火する。
容器(ボンベ)の取り付け不良	○	○		○	○			ハンドルを閉じ一度容器(ボンベ)を取り外し、もう一度容器(ボンベ)を説明書どおり付ける。
点火装置の故障			○					点検・修理を依頼する。
燃焼部の目づまり	○					○	○	点検・修理を依頼する。
器具栓の故障			○		○			○ 点検・修理を依頼する。
容器(ボンベ)内の圧力が高い						○		ハンドルを少し回し、点火し、しばらくしてからハンドルを全開にする。

◆ アフターサービス 日常の点検・手入れ・保管

アフターサービスを依頼する前に「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理な

らず、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

■点検・手入れの際の注意

- 日常の点検、手入れは必ず行ってください。
- 点検、手入れは消火し、容器(ボンベ)を取り外しバーナー部が完全に冷めてから行ってください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなるとして困るような場合は、お買い求めになった販売店または、当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

■保管

- 使用にならない容器(ボンベ)を取り外して保管してください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 直射日光の当たる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。
- 転倒、落下させないでください。

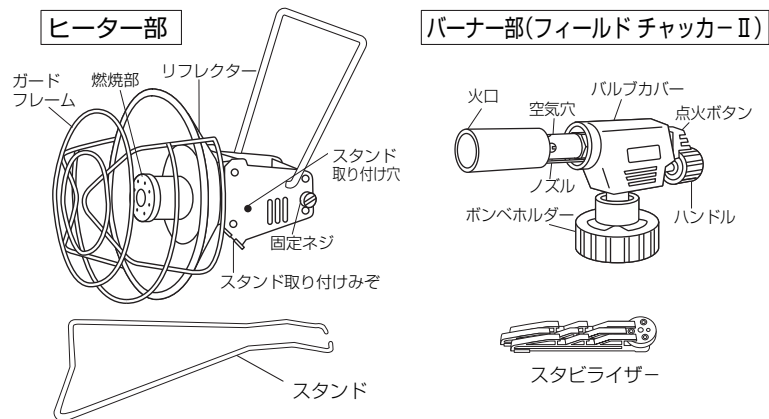
SOTO
Sparked by nature

新富士バーナー株式会社

〒441-0314
愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3
TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033
http://www.shin Fuji.co.jp/
E-mail: info@shin Fuji.co.jp

MADE IN JAPAN

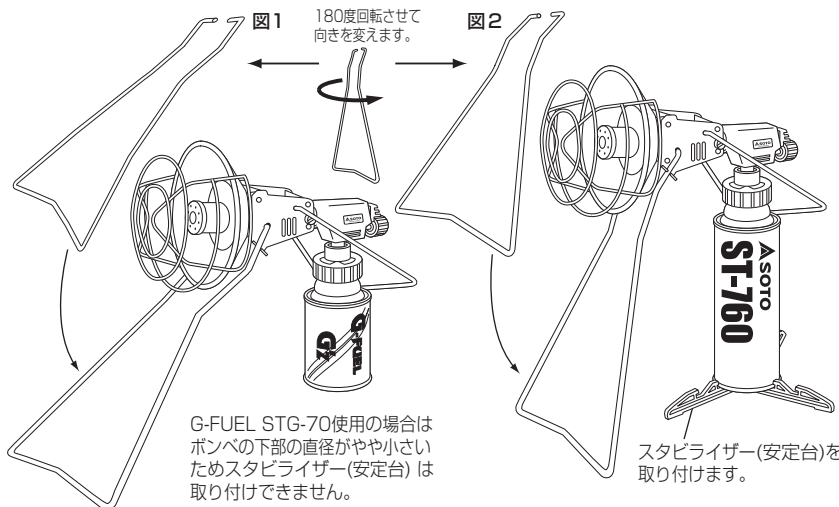
■各部の名称



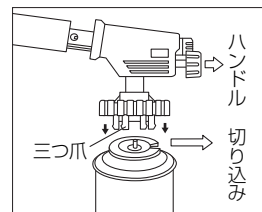
■スタンドの使い分け、スタビライザー(安定台)について

使用容器(ボンベ)により、スタンドの向きを切り替えて使用します。

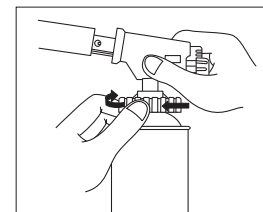
- ・G-FUEL STG-70の場合はスタンドを図1の向きにして使用します。スタビライザー(安定台)は取り付けできません。
 - ・ST-760、ST-700の場合は図2の向きにして(図1の位置から180度回転させる)使用します。スタビライザー(安定台)を取り付けます。
- ※スタンドの取り付け、スタビライザー(安定台)の取り付け方法はP.4を参照してください。



■容器(ボンベ)の取り付け (必ず周囲に火気の無いところで行ってください) ハンドルをOFFの方向(右)に回し、完全に締まっていることを確認してください。



ボンベホルダーをOPENの方向へ止まるまで回します。ボンベの切込部がハンドル側になるように三ツ爪をボンベのカップ内に押し込みます。

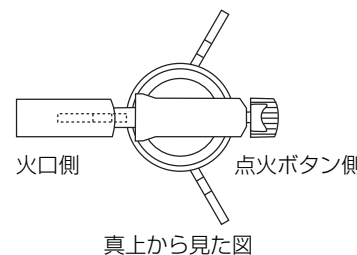
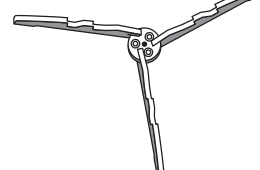
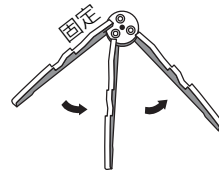


片手でバルブカバーを持ち、片手でボンベホルダーをCLOSEの方向へ止まるまで回し固定します。

⚠ 警告

ガス漏れに注意してください。容器(ボンベ)取り付け後、容器(ボンベ)がガタつかないか、“シュー”というガス漏れの音やガスの臭いがしないかを確認してください。

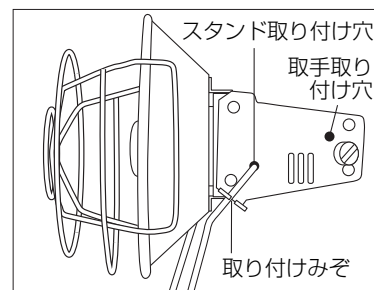
■スタビライザー(安定台)の取り付け



スタビライザーの右側と中央の脚を“カチツ”と止まるまで広げ固定します。(左側の脚は固定されています。) 容器(ボンベ)を内側のフックに掛けて固定します。

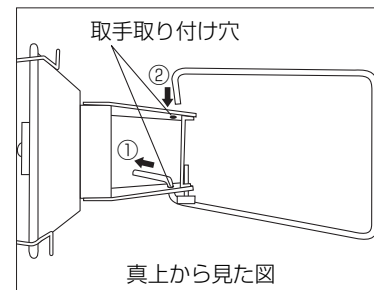
安定設置のためスタビライザーを火口側へ1本、点火ボタン側へ2本になるように取り付けます。

■スタンドの取り付け



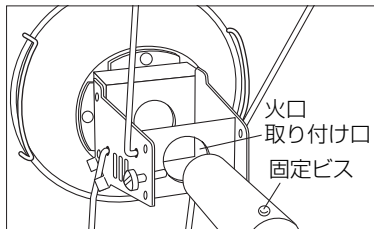
ヒーター側面にあるスタンド取り付け穴にスタンドを差し込み、取り付けみぞにはめ込んで固定します。

■取手の取り付け

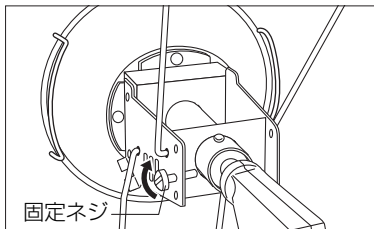


ヒーター側面にある取手取り付け穴に取手を鉤型の長い方から差し込んで図のように取り付けます。

■ヒーターの取り付け



ヒーターの火口取り付け穴にフィールドチャッカーⅡの火口を差し込みます。フィールドチャッカーⅡの火口の固定ビスが取り付け穴に当たるまで奥へ差し込みます。



ヒーターのサイドにある固定ネジを締めて固定します。ヒーターが抜けないことを確認します。

■点火

ハンドルをONの方向(左)に少し回し点火ボタンを“カチッ”というまで押しして点火を確認します。点火しない場合は、点火ボタンを繰り返し押します。

- * ガスを出し過ぎると点火しにくいのでガスの量を調整してください。
- * 生ガス(白い霧状のガス)が出たときは点火せず一度ハンドルをOFFに回し、再度ハンドルをONに回して生ガスが出ないのを確認してから点火してください。

■プレヒート(予備加熱)

生ガスが出るのを防ぐため、点火後約2分間は器具を動かさずにプレヒート(予備加熱)してから使用します。

⚠ 注意

使用する際は、はじめにプレヒート(予備加熱)し、燃焼部を赤熱させてから使用してください。

通常燃焼では火口から青白い炎が出ると同時に燃焼部が赤熱します。自然条件等により、この青白い炎が消えて燃焼部のみが赤熱することがありますが異常ではありません。燃焼部のみが赤熱することにより、効率よく熱が得られます。

ワンポイントアドバイス

燃焼部を赤熱させ、いったんハンドルを閉じ、すぐにまた開くとガスがバーナー火口でなく燃焼部のみで燃え効率よく熱が得られます。

■火力の調整

火力の調整は炎を確認しながらハンドルで調整します。
* 炎が立ち上がる時は、未燃ガスが出ていますので火力を弱めてください。

■消火

ハンドルをOFFの方向(右)へいっぱい回し閉じます。完全に消火したことを確認後作業を終了します。
* 容器(ボンベ)は必ず外して保管します。

■使用方法

- ・ 容器(ボンベ)の取り付け、点火方法、火力の調整、消火方法は「ヒーターとしての使用方法」と同様に行います。

⚠ 注意 逆さ使用について

点火後すぐに器具を逆さにしたり、ゆすったり傾けたりすると、生ガスが赤く燃え上がりやけど、火災の恐れがあります。点火後約2分間は必ずプレヒート(予備加熱)を行ってから使用してください。* 2分間のプレヒート(予熱)で約30秒間の逆さ使用ができます。(自然条件により時間は異なります。)

■プレヒート(予備加熱)について

- ・ 生ガスが出るのを防ぐため、点火後約2分間は器具を動かさずに、プレヒート(予備加熱)してから使用します。

プレヒート(予備加熱)を行う理由

器具がプレヒート(予備加熱)不十分の状態で使用した際、容器(ボンベ)内部の液体のガスがそのまま噴出し生ガス(気化していない白い霧状のガス)が出ます。2分間のプレヒート(予備加熱)をすることで液体のガスを強制的に気化させ、生ガス発生を防ぎます。

■使用上の注意

⚠ 警告

- ・ 着火時及び使用中は火口を人体にむけたりのぞきこんだりしないでください。
- ・ 使用中及び使用直後は火口、火口付近、バルブカバーが熱くなっていますので可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。
- ・ 容器(ボンベ)は正しくセットしてください。容器(ボンベ)のセットが不十分ですとガス漏れ事故の原因となります。
- ・ 生ガス(気化していない霧状の白いガス)に点火すると赤い炎が大きく燃え上がり、やけど火災の危険があります。生ガスが出た時は一度ハンドルを閉じ再度ハンドルを開いて生ガスが出ないのを確認してから点火してください。

⚠ 警告

- ・ 必ず手に持って使用してください。他の器具に固定したり置いたまま使用するとボンベが過熱し非常に危険です。
- ・ 炭の火起こしに使用の際は、火が起きたらすぐに器具を消火し、火元から離して置いてください。
- ・ 火の着いたまま容器(ボンベ)を取り外したり投げたりしないでください。やけど、火災の恐れがあります。

⚠ 注意

- ・ 必ず屋外でご使用ください。容器(ボンベ)の着脱も屋外で行ってください。
- ・ ハンドルは使用中の時以外は締めておいてください。
- ・ お子様には使わせない様にしてください。

■別売品 使用容器(ボンベ) SOTO製品専用容器、新富士バーナー製品専用容器

- SOTO パワーガス ST-760
- SOTO レギュラーガス ST-700
- G-FUEL STG-70



ST-760



ST-700



STG-70